

# 3年2組「特別の教科 道徳」学習指導略案

- 1 主題名 『よいと思ったことは』A- (1) 善悪の判断、自律、自由と責任  
 2 教材名 「よわむし太郎」(出典：光村図書「どうとく3 きみが いちばん ひかるとき」)  
 3 ねらいとする価値について

現代は、価値観の多様な社会といえる、その中でよりよく生きていくためには、物事の善悪を自分自身で的確に判断し、正しいと信じるところから主体的に行動することが大切である。

物事の善悪を的確に判断するためには、人として行ってよいこと、行ってはならないことを自ら区別する力を身に付けておく必要がある。人に左右されることなく、自らが正しいと信じるところから行動する力も重要であろう。

また、正しくないと考えられることを人に勧めないのはもちろん、正しくないと考えられる行動をしている人を止める勇気も大切にしたい。

## 4 本時の展開

○ねらい 心優しいよわむし太郎が、殿様から白い鳥を守る姿を通して、よいと思ったことを行うときに大切なことについて考えさせ、正しいと信じることを行い、正しくないと判断したことを止めようとする心情を育てる。

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ※評価
導入	1. 教材名から想起することを発表する。 ○「よわむし太郎」とは、どんな人だと思いますか。 ・すぐ泣く。 ・怖がり。 ・意気地なし。 ・臆病。 よいと思ったことを行うときに大切なのは、どんな心なのか考えよう	◇教材名から思い浮かべる人物像を、クラスで簡単に共有し、興味・関心をもたせる
展開	2. 資料「よわむし太郎」を読んで話し合う。 ○殿様の前に立ちはだかったときの太郎は、どんな気持ちで行動したのでしょうか。 ・白い鳥を撃たないでほしい。 ・白い鳥は友達だ。 ・子供たちを悲しませたくない。 ☆「お前も鳥といっしょにしとめてしまうぞ。」と言われても動かなかった太郎は、どんなことを考えていたのでしょうか。 ・白い鳥が撃たれたら子供たちが悲しんでしまう。 ・本当は怖いけど、逃げるわけにはいかない。 ・正しいことをしているのに、ここで逃げたら後悔する。 ○「よわむし太郎」という名前が消えたのは、どうしてだと思いますか。 ・怖いのを我慢して殿様に頼んだおかげで、白い鳥の命が助かったから。 ・太郎はよわむしではなく、子供たちのために勇気をもって頼んでくれた、とても心の強い人だと気が付いたから。	◇鳥を守るために殿様に立ちはだかった太郎の強さを感じ取らせるために、発問の前に子供たちからかわれても、いたずらされても怒らない太郎の大らかさについてクラスで確認する。 ◇殿様に脅されても逃げず、自分が「よくない」と判断したことを行動に表す太郎の勇気を捉えさせる。 ◇できるだけ多くの児童が発言できるようにする。 ◇ここまで考えてきたことを基に、太郎の心の強さを捉えさせる。
終末	3. ふりかえりを書き発表し合う。	※正しいと信じたことであれば、自分より強い相手でも立ち向かおうとする太郎の行動に気付き、記述している。(ワークシート・発言)